

東田フェスタ（舞台発表・ワークショップ）



2年生は、「どろぼう学校」を上演しました。総勢70名のどろぼうが、金持ち村までどろぼう遠足に行くお話です。2年生らしい元気さと、役になりきって動く面白さを演じてくれました。みんなその役になりきって、観客を演劇の世界に引き込んでくれました。子供たちも、舞台上で演技する気持ちよさと達成感を味わっていました。

4年生は「西遊記」です。おなじみのお話を、4年生らしく上演しました。練習では、少し不安な場面もありましたが、本番では堂々と立派に演技していました。孫悟空が分身の術で会場のいろんな場所から表れるところや、「パーフェクトヒューマン」のダンスが会場から喝さいを浴びました。三蔵法師たちに、お礼の舞を披露するところも自分たちで考えました。



6年生は「ライオンキング」です。ディズニーの話をアレンジして、東田小らしい作品になっていました。一人一人がその場面の様子を考え、みんなで演出して作品を仕上げていきました。演技一つ一つのクオリティが高く、大人でも感心させられました。物語のテーマが、台詞の一つ一つ、登場人物の表情から伝わってきました。最高学年としてふさわしい舞台でした。





P T A 読み聞かせの方々による朗読劇「みしのたくかにと」
(作：松岡享子)です。20名近い読み聞かせチームの方々が、面白い作品を読み聞かせてくれました。ペープサートを効果的に使って物語のイメージを作りやすく工夫してくれました。全員が、最後まで集中して聞き入っていました。

P T A コーラスによる合唱です。「R P G」は、本校の音楽担当：久保先生の指揮で練習を重ねてきました。本番は素敵なハーモニーを響かせてくれました。2曲目「世界に一つだけの花」は学校職員も参加して、大勢で歌いました。子供たちもサビの部分は一緒に合唱して体育館全体に、みんなの音が響き渡りました。



1年生は「ひがした☆にここパーク」です。8つのグループに分かれて、1, 2組合同でそれぞれ工夫したお店やさんを開きました。どこも、子供たちが工夫してお客さんを楽しませるものになっていました。大勢のお客さんで大賑わいでした。最初は、戸惑っていた店員さんも、次第に慣れて上手に接客できるようになっていました。



3年生は「楽しく知ろう探検隊！成田東研究所」です。6つのグループが総合的な学習の時間に調べたことを、クイズ形式にして発表していました。図や表、写真を活用して分かりやすく発表できていました。聞く側も、知っているところが出てきたので「へーえ」「そうだったのか」と思うことが多く興味をひかれました。

5年生は「“くらし”の問題 解決し隊」です。私たちの身の周りにある疑問について、興味を持ったことについて調べて発表しました。PCの発表ソフトを使って、グラフや写真など効果的にプレゼンテーションができていました。文字の打ち込みや写真の貼りつけなど苦労したようですが、本番は見事に発表できていました。



おやじの会による「紙で作る防災スリッパ」です。災害が起きた時に、裸足で逃げた時身近にある新聞紙などで簡単にできて安全なスリッパの作り方を教えてくれました。子供も大人も興味深く感じて、一生懸命作っていました。出来上がったスリッパは家に持ち帰って、防災リュックの中に入ったことと思います。



東京土建のみなさんによる「木工作」です。頑丈な本立ての制作ができます。

プロの方のご指導で、子供たちはみるみる内に、1枚の板から本棚が出来上がり、大事そうに持ち帰りました。自分の好きな本を入れていると思います。

せいきょう診療所による「健康チェックと体力測定」です。身長と体重を用紙に記入して、健康チェックをすることができます。毎年きてくださるので、これを楽しみにしている大人の方もいました。血管年齢が思ったより高くショックを受けている人もいました。



東田フェスタは、他の学校と異なり東田小学校独自の行事だと思います。奇数学年は、ワークショップ、偶数学年は舞台発表という形も他にはありません。PTAの読み聞かせ、コーラス、おやじの会、東京土建、せいきょう診療所の方々も一緒に参加できるというのも地域密着型で、地域と共にある学校の具現化だと感じています。また、午前と午後の2回興行というのも東田独自のものです。1回目もし失敗があっても2回目を取り戻すことができます。今から来年のフェスタが楽しみです。